

# スポーツ環境及び高校入試制度の在り方検証委員会 設置趣旨及び今後の進め方について

## 1. 設置趣旨等について

近年、スポーツ等の特定分野で実績を有する県内の中学生が、県外の高等学校へ進学する傾向が顕著になっており、その要因の一つとして、令和5年度入試から実施された入試制度の影響が大きいのではないかとの意見がある。

このことを踏まえ、県外進学傾向の背景にある要因を分析し、県外進学と高校入試制度との関連性について検証を行うこととする。その上で、県内高校におけるスポーツ環境及び高校入試制度の望ましい在り方について、検討を進めることとする。

## 2. 今後の進め方について

＜第1回＞ 令和7年7月30日（水）10:00～12:00

- ・ 県外進学の現状及び現行の高校入試制度について（事務局から説明）
- ・ 県外進学に影響を与えている要因等について（意見交換）

＜第2回＞ 令和7年11月11日（火）14:00～16:30（予定）

- ・ 分析結果等を踏まえた今後の対応方策（スポーツ環境及び高校入試制度の在り方）について（意見交換）

＜第3回＞ 令和8年1月19日（月）14:00～16:30（予定）

- ・ 第1回及び第2回の意見交換を踏まえた取りまとめ  
※報告書の手交は3月中をイメージ

# 現行の高校入試制度について

- 本県においては、令和5年度公立高等学校入学者選抜(令和4年度実施)より、前期選抜を廃止し、3月上旬に1次募集(一般選抜及び特色選抜)、3月下旬に2次募集を行う形式を採っている。
- 現行制度は、変化の激しい社会を生きていくために必要な資質・能力の育成に向け、学力を保障するという観点に立ち、中学校から高等学校への学びの円滑な接続に資する入学者選抜制度の確立を図ろうとするものであり、1次募集においては特色選抜・一般選抜ともに同一の検査問題(5教科)を課すこととしている。

## 令和4年度までの入学者選抜制度

### 前期選抜

【実施時期】  
1月下旬  
【募集人員】  
募集定員の10~30%  
【選抜方法】  
学力検査3教科(国語・数学・英語)、調査書、志願理由書、学校独自の提出書類、面接等に基づき総合的に判断

### 一般選抜

【実施時期】  
3月上旬  
【募集人員】  
募集定員の70~90%  
【選抜方法】  
学力検査5教科(国語・社会・数学・理科・英語)、調査書、面接等に基づいて総合的に判断

### 2次募集

【実施時期】  
3月下旬  
【募集人員】  
一般選抜で充足していない募集人員  
【選抜方法】  
調査書、一般選抜の学力検査の成績、面接等に基づいて総合的に判断

## 制度の課題を改善

### これまでの制度の特徴

- 全県一区の通学区にすることにより、全県の中学生在が秋田県内全ての高校から希望する高校を選ぶことができる。
- 前期選抜、一般選抜、2次募集と最大3回の受検機会による評価尺度の多元化や、選抜方法の多様化が図られている。

### これまでの制度の課題

- 前期選抜を受検する生徒は、国語・数学・英語の3教科を中心に学習を進め、社会・理科の学習が疎かになる傾向が見られるなど、高校入学後の学習に影響を及ぼす場合がある。また、前期選抜の合格者と不合格者、一般選抜受検者が同じ教室で学習することで、指導上の困難が生じている。
- 中学校、高等学校双方で、前期選抜から2次募集まで入学者選抜業務が切れ目なく続くことから、教育活動に影響を及ぼしている。

## 令和5年度からの入学者選抜制度(現行)

### 1次募集

【実施時期】  
3月上旬に特色選抜と一般選抜を同一日に実施

### 特色選抜

【募集人員】  
募集定員の10~50%  
【選抜方法】  
学力検査5教科(国語・社会・数学・理科・英語)、調査書、志願理由書、学校独自の提出書類、面接等に基づき総合的に判断

### 一般選抜

【募集人員】  
募集定員から特色選抜の募集人員を除いた人数  
【選抜方法】  
学力検査5教科(国語・社会・数学・理科・英語)、調査書、面接等に基づき総合的に判断

同一の検査問題

### 2次募集

【実施時期】  
3月下旬  
【募集人員】  
1次募集の合格者を除いた人数  
【選抜方法】  
調査書、1次募集の学力検査の成績、面接等に基づいて総合的に判断

## 入学者選抜制度の変更にかかるスケジュール

令和5年度入学者(令和2年度中学校1年生)から実施

新制度公表

周知期間

公表  
実施要項

新制度による  
入学者選抜  
実施

新入生入学

令和元年度

令和2年度

令和3年度

令和4年度

令和5年度